

倉敷管弦楽団

第42回定期演奏会

日時

2016. **7.3** [SUN] 14時30分開演
(14時開場)

場所

倉敷市民会館



指揮
曾我 大介



チェロ
マーティン・
スタンツェライト



主催：倉敷管弦楽団・公益財団法人日本交響楽振興財団

共催：倉敷市文化連盟

後援：岡山県・倉敷市・RSK山陽放送・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・(公財)岡山県郷土文化財団・公益財団法人倉敷市文化振興財団



RING!RING!
プロジェクト

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<http://ringring-keirin.jp>





倉敷市長 伊東香織

倉敷管弦楽団第42回定期演奏会が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

倉敷管弦楽団は、昭和49年に結成され、岡山県を代表する歴史あるオーケストラの1つとして、多くのファンを魅了し続けておられます。また、「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に演奏活動に取り組み、倉敷音楽祭への出演やオーケストラを聴く機会の少ない地域へ出向いて演奏会を開催されるなど、本市の音楽文化の発展に多大な貢献をいただいております。

大変感謝しております。

今回の演奏会では、世界を舞台に御活躍の指揮者・曾我大介氏と、広島交響楽団の首席チェロ奏者マーティン・スタンツェライト氏をお迎えし、ドヴォルザークの代表作の1つである「チェロ協奏曲・ロ短調」を演奏されると伺っています。チェロの深く温かい音色は、多くの聴衆の皆様には大きな感動を与えるものと期待しております。

御出演の皆様には、日頃の御研鑽の成果を十分に発揮されますとともに、「くらしき文化」の発展と、「生活に文化が薫るまち」づくりに格別の力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、本演奏会の御成功と倉敷管弦楽団の今後ますますの御活躍、御発展をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



倉敷管弦楽団 団長 松江雄二

このたびは、倉敷管弦楽団第42回定期演奏会によろこばいいただきました。私は、今年1月、田邊幹夫氏の後任として団長に就任いたしました。42年の歴史をもつ倉敷管弦楽団の代表として、身の引き締まる思いです。地域に根差した、よりよきオーケストラとなるよう、微力ながら尽力したいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

さて、今回は、指揮に曾我大介氏、チェロ独奏にマーティン・スタンツェライト氏をお招きし、全く性格が異なる3曲を選んで演奏することといたしました。曾我大介氏は、第33回定期演奏会で共演しており、10年ぶりの共演です。団員各位の評価も高く、的確な指導で、レベルの高い演奏に導いていただけるものと期待しています。マーティン・スタンツェライト氏は広島交響楽団の首席奏者で、ドイツ人ではありますが、日本での活動歴が長く、広島交響楽団に大きな貢献をされている方です。

このお二人とともに、精一杯演奏いたしますので、どうか、最後までごゆっくりお聴きください。

G. ロッシーニ : 歌劇「セビリアの理髪師」序曲

A. ドヴォルザーク : チェロ協奏曲 口短調 作品104

第1楽章 Allegro

第2楽章 Adagio, ma non troppo

第3楽章 Finale, Allegro moderato

————— 休憩 —————

S. ラフマニノフ : 交響曲第2番 ホ短調 作品27

第1楽章 Largo - Allegro moderato

第2楽章 Allegro molto

第3楽章 Adagio

第4楽章 Allegro vivace

G. ロッシーニ / 歌劇「セビリアの理髪師」序曲

ジョアキーノ・ロッシーニ (1792-1868) が24歳のときに作曲したオペラ「セビリアの理髪師」は、18世紀のスペイン・セビリアを舞台とした喜劇オペラ(オペラ・ブッファ)です。

資産家の美しい娘ロジーナに一目惚れした青年貴族アルマヴィーヴァは、セビリアの何でも屋である理髪師、フィガロの助けを借りて固いガードの屋敷に忍び込みます。アルマヴィーヴァは機転を利かせながら妨害を退け、ついにロジーナと会って、見事恋を成就させるという物語です。ロッシーニは、18歳で作曲家デビューするとすぐに実力が認められ、たちまち人気となりました。ナポレオンがいなくなったが別の男が出現した、といわれるほどでした。オペラ「セビリアの理髪師」はそのロッシーニの名声をヨーロッパ中に広めた作品で、このオペラを鑑賞したベートーヴェンはロッシーニに、「あなたはオペラ・ブッファ以外を作曲してはいけない」と言って絶賛したといわれています。ロッシーニのオペラの中でも最も上映回数が多い作品です。

ロッシーニは筆が早いことでも知られ、1年に3本のペースで新作のオペラを作曲しました。この作品も、わずか13日で作曲しましたが、本編の作曲に熱中するあまり、ロッシーニは序曲の作曲を忘れていました。そこで、自身の過去作のオペラ「イギリス女王エリザベッタ」序曲を転用して上映に臨みました。さらに、この「イギリス女王エリザベッタ」序曲はその2年前の作品「パルミラのアウレリアーノ」序曲の転用であり、この序曲は3つのオペラに共通の序曲になっています。

ロッシーニは37歳で作曲家を引退するとその後は美食家として活躍し、フォアグラとトリュフを組み合わせた贅沢なステーキなど、意外な組み合わせで料理史に残るレシピも考案しました。軽快で美しいメロディーが次から次へと演奏される「セビリアの理髪師」序曲は単独で演奏されることも多い、多才なロッシーニの代表作です。

(魚住菜月)

A. ドヴォルザーク / チェロ協奏曲 口短調 作品104

1892年、ドヴォルザークはニューヨークの音楽学校校長として招かれアメリカに渡ります。新天地では有名な交響曲第9番「新世界より」や弦楽四重奏曲「アメリカ」などが作曲され、この時期作曲家としてまさに円熟のときを迎えていました。しかし、チェロ協奏曲を書き始めていた1894年の冬、次第に故郷を思う気持ちが強くなり、1895年4月、音楽学校との契約がまだ残っていたにもかかわらず帰国しました。

故郷ボヘミアに戻ったドヴォルザークでしたが、喜びもつかの間、大きな不幸が訪れます。ヨゼファ・カウニツ伯爵夫人の死でした。彼女は作曲家にとって誠実な友人でもあり、そしてまた初恋の人でした。その訃報をきいたドヴォルザークは、一度は完成していたチェロ協奏曲を再び取り上げ、第3楽章コーダに筆を加えます。新たに付け加えられた部分は、「思い出」の中で静かに祈るようです。

チェロという楽器の持てる表現能力を最大限に活かしきった独奏部、雄大かつ密度の濃い単なる伴奏以上の内容を要求されるオーケストラ、故郷を思う郷愁に満ちた親しみやすい旋律など、協奏曲というジャンルでの最高傑作の1つです。また、チェロ奏者としては、取りくむべき重要なレパートリーです。

第1楽章 Allegro

ソナタ形式。古典的な協奏曲にならって、最初は管弦楽により主題が提示されます。冒頭クラリネットによる第1主題はスラブ的な暗さを感じます。しかしホ

ルンの独奏による第2主題は安らぎに満ちた大変美しい。屈指の名旋律です。これら主題提示の後、満を持して独奏チェロが堂々と登場。管弦楽との対話を絡めつつ曲は進行し、最後は長調化された第1主題が力強く現れ、雄大な響きの中閉じられます。

第2楽章 Adagio, ma non troppo

感傷と叙情にあふれた三部形式の緩徐楽章。オーボエとファゴットの柔らかい音色に伴奏される牧歌的な主題が奏され、これは独奏チェロに引き継がれます。自作の歌曲「私にかまわないで」に基づく旋律があらわれます。その後最初の主題がホルンに戻り、独奏チェロの短いカデンツァ風の一節をはさんで静かに終わります。

第3楽章 Finale, Allegro moderato

低音弦のきざみの中、勇壮な Rond 主題が提示され、この主題を中心にさまざまなエピソードが描かれます。コーダについては、ヨゼファ・カウニツ伯爵夫人の死後、加筆されました。その部分に作曲家自身の解説があります。「フィナーレはだんだんとデイミヌエンドで終わります。第1楽章と第2楽章を思い出しながら・・・ソロはピアノシモまで消え入り・・・最後の小節をオーケストラが引き継ぎ、嵐のような響きの中に終わるのです。これが私の考えで、私はこれを捨てることができません。」

(松江雄二)

S.ラフマニノフ / 交響曲第2番 ホ短調 作品27

「いきなり愛の告白から始まるんだ、この曲は。」曾我大介先生の初回練習時、ラフマニノフ交響曲第2番第3楽章冒頭で、先生はこうおっしゃいました。先生の著書『聴きたい曲が見つかる！クラシック入門』でも、この第3楽章は『二人の甘い雰囲気盛り上げるのにぴったりの曲』と紹介されています。

今回曾我先生のご厚意でお許しをいただきましたので、曲解説として引用させていただきます。

まずはクライマックスから入るラブストーリー

甘いメロディといえば、ロシアの作曲家がまず頭に浮かびます。チャイコフスキー、リムスキー＝コルサコフ、ストラビンスキーだってバレエ<火の鳥>には甘いメロディが出てきます。あれはロシア語の語感のおかげなのでしょう？

その中でもラフマニノフは甘いメロディを書かせたら一番かもしれません。毒舌家ストラビンスキーに「ラフマニノフは桁外れに巨大な映画音楽を書いた」と言わしめた(?)ほど。

ラフマニノフ

一家が破産して両親が離婚するというショッキングな事件を少年時代に味わいながら、音楽の才能を認められ、ペテルブルグ音楽院の幼年クラスに入ることができたラフマニノフ。ただし、すべての科目で落第して、モスクワ音楽院でキビシイ教師のもとで修業を積むことで、ピアニストとして頭角を現します。モスクワ音楽院を一等の金賞をとって卒業、同時に作曲家としての人生を歩み出しますが、発表した第1交響曲が記録的な大失敗。お落ち込んだラフマニノフは精神科医によって救われます。そして今日でも演奏される機会の多いピアノ協奏曲第2番の大成功によって、指揮者にとって榮譽ある「グリムカ賞」を受賞します。

交響曲第2番

交響曲第2番は2度目の「グリムカ賞」を受賞した成功作。彼は指揮者としても成功を収めていたのですが、作曲家としての人生を選びます。結婚し2人の子供にも恵まれ、公私共々充実していたさなか、ロシアの政情不安を避けドレスデンに移り住んだ1907年の作品です。

ピアノ協奏曲第2番第2楽章も甘いメロディで有名ですが、なぜこちらを選んだかといえば、語法の違いです。ピアノ協奏曲はなが〜い前置きがあって、雰囲気を作りながら気持を高めてゆく草食系男子手法の告白の仕方、それに対して交響曲第2番の方は、いきなり「お前が好きだ〜〜〜！」と言い切ってからムード作りに励み（優しいクラリネットのメロディ）、そして何度も「お前が好きだ!!!」を畳みかけてゆくのです、こちらは、肉食系男子の告白でしょう！

メロディのタイプ

一口に甘いメロディといってもいろいろあって、切ない音楽、穏やかな甘いメロディ、ちょっとじらすようなメロディなどさまざまです。二人の気分にあうのはどんな曲なのか、探してみるのもよいかもかもしれません。

(曾我大介著：「聴きたい曲が見つかる！クラシック入門」より)

クラシック音楽一ロメモ 弦楽器の「ボーイング」について

ステージの前側の多くのスペースを、多数の弦楽器奏者が占めていますね。左からヴァイオリン、チェロ、ヴィオラ、コントラバスの4種類です。それぞれ、楽器の大きさ、音の高さ、が大きく異なります。しかし、共通点があります。「楽器に張られた弦を、馬のしっぽの毛がついた弓でこすって音を出す」ということ。この弓の動かす方向をボーイング (bow=弓) といいます。ヴァイオリン、ヴィオラでは、下げ弓 (ダウンボウ) 上げ弓 (アップボウ)、チェロ、コントラバスでは奏者から見て右方向をダウンボウ、逆はアップボウです。奏者間では、略して、アップ、ダウンといいます。オーケストラ弦楽セクションで演奏するに先立ち、どちら

の方向で演奏するか、事前にきめておく必要があります。これを「ボーイングをつける」といいます。まず、それぞれのセクションの首席奏者が、あらかじめボーイングをつけて楽譜に書きこみ、合奏にのぞみます。その結果、指揮者の要求、コンサートマスターの方針、楽器間の折り合いなどから、議論しながら細かく調整してゆきます。最初の練習の数回は、このボーイング調整がほとんどです。首席奏者間で定められたボーイングを、都度毎に一般奏者が書き写し、それにあうように練習します。最終的に、本番で、きちんと動きがそろうようになります。このように地道な作業の積み上げがあることをご理解いただければと思います。



指揮者：曾我 大介

(そが だいすけ)

東京ニューシティ管弦楽団 正指揮者

桐朋学園大学、ウィーン音楽大学等で、B.ハイティンク、G.シノーポリ、I.ムーシ、U.ラーヨビッチ、小澤征爾、田中雅彦、I.ケプテア、森正の諸氏に学び、1989年ルーマニア国立音楽院在学中にルーマニアでデビュー。

1993年ブザンソン、1998年コンドラシンの二大指揮者コンクールで第1位。以降日本はもとより、ヨーロッパ、南米を中心に世界各地のオーケストラに客演を重ね、2015年6月にはベルリン・フィルハーモニーホールにおけるベルリン交響楽団ベートーヴェン「第九」公演を指揮するなど活躍を続けている。

特にルーマニアではジョルジュ・エネスコ・フィル、ルーマニア国立放送響、ブラショフ・フィルなどに定期的に客演、2013年にはブラショフ・フィルハーモニーホール落成記念コンサート及びシーズン開幕コンサート、ブラショフ・オペラのシーズン開幕公演の指揮者を務めた。

これまでにルーマニア国立放送交響楽団首席客演指揮者、大阪シンフォニカー交響楽団音楽監督などを歴任し、現在東京ニューシティ管弦楽団正指揮者、およびブラジル・ロンドリーナ音楽祭首席指揮者。

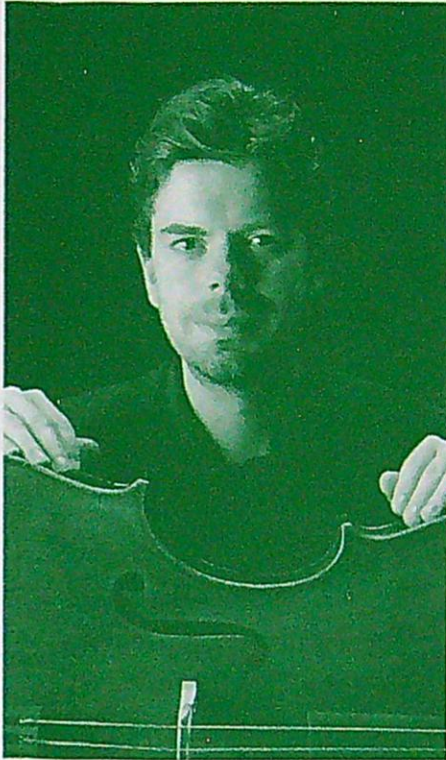
各地音楽祭出演や、講習会の講師、コンクールの審査員、また近年は作曲家としても活躍し、その作品は日本をはじめ、イタリア、ルーマニア、アメリカ、ブラジル等で演奏されている。

2012年9月には、音楽之友社の「歌う人のための《第九》合唱譜」出版にあたり、豊富な演奏経験を生かして監修を務め、2013年7月に『《第九》虎の巻 歌う人・弾く人・聴く人のためのガイドブック』を同社から出版。

デルタ・クラシックスより、東京ニューシティ管弦楽団とのCDがリリース中。

ルーマニア・ブラショフ市とブラジル・ロンドリーナ市より、同地での長年の活動に対して名誉市民の称号が贈られている。

オフィシャルホームページ www.soga.jp/



チェロ：
マーティン・スタンツェライト

ドイツ出身。5歳よりチェロを始める。1990年、エッセン国立音楽大学に入学。1995年、同大学を首席で卒業。folkbank・コンクールに入賞。1995年よりドイツ室内楽アカデミー管弦楽団の一員としてコンサートツアーに参加。デンマーク王立歌劇場に入団。その後、コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団にチェロ首席奏者として招聘される。1998年夏より、広島交響楽団の首席チェロ奏者に就任。チェロをヤンチャン・チョウ、ジークフリート・バルム、ハインリヒ・シフ、ヤーノシュ・シュタールケル各氏に師事。指揮法を秋山和慶、ラインハート・カウフマン、藤崎凡の各氏に師事。広島交響楽団首席チェロ奏者を務める傍らオンリーチェンバーミュージック、クレイジークラシックス主宰など活動の幅を広げており、さらなる活躍が期待されている。

2011年、地域の文化活動の発展に功績があったとして、財団法人 けんしん育英文化振興財団より、「県民文化奨励賞」を受賞しました。

2013年より、日本初チェロ・ロックバンド「カンターナ」を組む、デビューCD「Cellmate」をリリース。2015年、CD「Live in Karuizawa」をリリース。使用楽器は1691年製フランチェスコ・ルジェーリ。

倉敷管弦楽団 Kurashiki Orchestra

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしいレベルの高い楽団として活動を続け、毎年約5回の演奏会を開催し、今年で42年目になります。

その間、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、平成16年には三木記念助成金、平成18年には福武文化奨励賞を受賞しました。また、平成18年には常任指揮者の菊池東氏が倉敷市文化章を受章しました。

毎年1回開催する定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、堤俊作氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、増井信貴氏、曾我大介氏、角田鋼亮氏、小林恵子氏、小松長生氏、米崎栄和氏を招き、団員や演奏のレベルアップをはかっています。また、今まで共演したソリストも多く、フルートではジャン・ピエール・ランパル氏、ヴァイオリンではイヴリー・ギドリス氏、前橋汀子氏、漆原啓子氏、天満敦子氏、アナスタシア・チェボタリョワ氏、久保陽子氏、守屋剛志氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、松本和将氏、ルース・スレンチェンスカ氏、アンドレイ・ピサレフ氏、チェロの岩崎洸氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、板谷由起子氏、クラリネットのティモシー・カーター氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギター

の福田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も数多く行っています。また、倉敷地方の文化レベル向上に積極的に貢献しております。倉敷音楽祭に毎年のように出演し、ミュージカル「11匹のネコ」、シヨスタコーピチ オラトリオ「森の歌」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、團伊玖磨「夕鶴」、ビゼー「カルメン」等のオペラ、バレエの競演、等に出演しています。今年は、シヨスタコーヴィチ「祝典序曲」、レスピーギ「ローマの松」などを演奏しました。県内のオーケストラを聴く機会の少ない地域にも、毎年のように出向いて、演奏会を開いてきました。

演奏曲目はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」、小六禮次郎氏作曲「瀬戸内賛歌」などを初演。オペラではモーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J・シュトラウス「こうもり」、プッチーニ「蝶々夫人」などを演奏しました。

創立10周年記念演奏会では400人からなるベートーヴェン「第九」、20周年ではイヴリー・ギドリス氏、岩崎洸氏との「コンチェルトの夕べ」を開催し、30周年では、マーラー「交響曲第1番・巨人」を演奏しました。昨年の40周年では、マーラー「交響曲第5番」を演奏しました。

今後も、倉敷地域の音楽文化向上に寄与すべく活動してまいります。

倉敷管弦楽団 団員募集

定例練習日 毎週月曜日 午後7:00~9:30

練習場所 倉敷市文化交流会館

団員資格 オーケストラ経験者で、練習・演奏会に参加できる人

募集パート 全パート

●お問い合わせは info@kurakan.org 松江雄二 / TEL.090-1330-0801

<http://kurakan.org/kurakan-blog/>

The 42nd Regular Concert

Performers ● 出演者

倉敷管弦楽団

団長/松江雄二 常任指揮者/菊池 東 指揮者/吉市幹雄

ソロコンサートマスター/佐藤真理子 コン서트マスター/阿曾沼和代

インスペクター/松江雄二 マネージャー/糸島早苗 中川雅美 原田洋輔 渡邊陽子

監事/鮑浦良和 斎藤多恵子

Violin 1	佐藤真理子 小林 佐知 森安 鋭子	阿曾沼和代 ◎藤田 真理 柳井 典子	荒木加英子 新谷 敏子 渡邊 陽子	沖中 絵美 丸山 博樹
Violin 2	黒田 充亮 串部 美幸 平松 綾	◎上原 保美 富永 恵 三宅 郁子	大村 奈美 中塚えりか 村上 節美	大瀬戸景子 原田 洋輔
Viola	◎松江 靖子 岩瀬 裕子 野田 卓也	菊池 東 片山佳央理 ※大道 真弓	鮑浦 良和 黒田 和宏	赤塚 佳代 武本 克己
Violincello	松江 雄二 辻田 順子 ※江島 直之	◎栗木由美子 平松 真弓	石川 恵子 松本 圭子	大西 智幸 矢田義比古
Contrabass	◎糸島 早苗 ※岡崎謙一郎	魚住 菜月 ※仲原 利江	本屋敷勝信 ※嶋田 真志	
Flute, Piccolo	河村 香織	小池 薫	月本 裕子	◎宮尾 紀子
Oboe, Cor anglais	◎瀬尾 祥治	羽井佐浩気	吉田 容子	
Clarinet, Bassclarinet	斎藤多恵子	◎福島 恭子	松本美和子	
Fagott	◎浅野 絢子	※西牧 岳		
Horn	相澤 弘明 ◎澤田 秀実	今田 智子 濱口 桃子	金田 英大	熊澤 和美
Trumpet	◎原田 宗範	柚木 麻澄	山口 裕美	
Trombone	樋口 仁	酒本 真彰	※林 智洋	
Tuba	◎浅野 尚行			
Percussion	※井上 充隆	※今井 忍	※平松 泰一	※李 成花

◎パートマネージャー ※客演

The 42nd Regular Concert

History of Concert ● 主な演奏会記録

- S.50.12.8**
第1回定期演奏会
 指揮/菊池 東
 ヘンデル/合奏協奏曲Op6-10
 ヴィヴァルディ/
 協奏曲集「四季」より<春><夏>
 バッハ/カンタータBWV202、
 ブランデンブルク協奏曲第4番
 小山清茂/弦楽の為のアイヌの歌
- S.51.11.16**
第2回定期演奏会
 指揮/早川正昭
 チェロ/山崎伸子
 ヴィヴァルディ/
 2つのトランペットの為の協奏曲八長調
 バッハ/
 ブランデンブルク協奏曲第1番八長調
 レスピーギ/
 リュートの為の古代舞曲とアリア第3組曲
 ホッケリーニ/チェロ協奏曲変ロ長調
- S.53.1.8**
第3回定期演奏会
 指揮/フォルカー・レニック
 ヴァイオリン/和波孝禧
 ヘンデル/水上の音楽(ハレ版)
 モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調
 ドヴォルザーク/弦楽セレナーデホ長調
- S.53.12.10**
第4回定期演奏会
 指揮/菊池 東
 ピアノ/深沢亮子
 ブリテン/シンプルシンフォニー
 バッハ/
 2つのヴァイオリンの為の協奏曲二短調
 モーツァルト/交響曲第38番二長調
 モーツァルト/ピアノ協奏曲第20番二短調
- S.54.12.9**
第5回定期演奏会
 指揮/菊池 東
 チェロ/安田謙一郎
 モーツァルト/交響曲第40番ト短調
 ハイドン/チェロ協奏曲第2番二長調
 ベートーヴェン/交響曲第1番八長調
- S.55.12.7**
第6回定期演奏会
 指揮/堤 俊作
 オーボエ/ティールテルム・ヨナス
 モーツァルト/オーボエ協奏曲八長調
 ヘンデル/合奏協奏曲Op.6-6
 ドヴォルザーク/
 交響曲第9番ホ短調「新世界より」
- S.56.6.9**
第7回定期演奏会
 指揮/早川正昭
 モーツァルト/ティヴェルティメント二長調
 ビゼー/「アルルの女」第2組曲
 ベートーヴェン/交響曲第7番イ長調
- S.57.6.6**
第8回定期演奏会
 指揮/古谷誠一
 ベートーヴェン/「エグモント」序曲
 モーツァルト/交響曲第41番八長調「ジュピター」
 スマタナ/交響詩組曲「わが祖国」より
 (高尾城)(モルダウ)
- S.58.12.11**
第9回定期演奏会
 指揮/湯浅卓雄
 ヴァイオリン/豊田弓乃
 モーツァルト/「フィガロの結婚」序曲
 メンデルスゾーン/
 ヴァイオリン協奏曲ホ短調
 ベートーヴェン/
 交響曲第3番ホ長調「英雄」
- S.59.12.2**
倉敷第九演奏会(第10回定期演奏会)
 指揮/堤 俊作
 ベートーヴェン/
 「レオノーレ」序曲第3番
 交響曲第9番二短調「合唱付」
- S.60.6.1**
第11回定期演奏会
 指揮/金 洪才
 トランペット/津堅直弘
 ドビュシー/小組曲
 フンメル/トランペット協奏曲変ホ長調
 ブラームス/交響曲第2番二長調
- S.61.6.1**
第12回定期演奏会
 指揮/佐渡 裕
 ヴァイオリン/守屋美枝子
 ヴィオラ/江島幹雄
 シベリウス/組曲「カレリア」
 モーツァルト/協奏交響曲変ホ長調
 メンデルスゾーン/
 交響曲第3番イ短調「スコットランド」
- S.62.6.7**
第13回定期演奏会
 指揮/佐渡 裕
 モーツァルト/交響曲第35番二長調「ハフナー」
 ブラームス/交響曲第1番八短調
- S.63.6.5**
第14回定期演奏会
 指揮/古谷誠一
 ヴァイオリン/景山誠治
 モーツァルト/「ドン・ジョバンニ」序曲
 チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲二長調
 交響曲第4番ヘ短調
- H.1.6.4**
第15回定期演奏会
 指揮/星出 豊
 ヴェルディ/「ナブッコ」序曲
 ヘンデル/水上の音楽(抜粋)
 ブラームス/交響曲第4番ホ短調
- H.2.6.3**
第16回定期演奏会
 指揮/田中一嘉
 ピアノ/伊藤 恵
 メンデルスゾーン/序曲「フィガロの洞窟」
 ベートーヴェン/
 ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」
 交響曲第6番ヘ長調「田園」
- H.3.6.2**
第17回定期演奏会
 指揮/田中良和
 チェロ/岩崎 洗
 ロッシーニ/「セヴィリアの理髪師」序曲
 ドヴォルザーク/チェロ協奏曲口短調
 チャイコフスキー/
 交響曲第6番口短調「悲愴」
- H.4.5.31**
第18回定期演奏会
 指揮/小出雄聖
 ギター/福田進一
 ビゼー/組曲「カルメン」より
 ロドリゴ/アランフェス協奏曲
 シベリウス/交響曲第2番二長調
- H.5.6.6**
第19回定期演奏会
 指揮/増井信貴
 ピアノ/伊藤 恵
 チャイコフスキー/
 幻想序曲「ロメオとジュリエット」
 ベートーヴェン/
 ピアノ協奏曲第4番ト長調
 ブラームス/交響曲第3番ヘ長調
- H.6.6.5**
第20回定期演奏会
 指揮/金 洪才
 ホルン/松崎 裕
 ブラームス/大学祝典序曲
 R.シュトラウス/
 ホルン協奏曲第1番変ホ長調
 ショスタコヴィッチ/
 交響曲第5番二短調
- H.6.12.18**
コンチェルトの夕べ
(倉敷管弦楽団20周年記念)
 指揮/飯森範視
- ヴァイオリン/イヴリー・ギトリス
 チェロ/岩崎 洗
 モーツァルト/「魔笛」序曲
 ポッパー/ハンガリア狂詩曲
 ブラームス/
 ヴァイオリンとチェロの為の二重協奏曲イ短調
- H.7.6.4**
第21回定期演奏会
 指揮/金 洪才
 ピアノ/花房晴美
 ポロディン/
 「イーゴリ公」よりダッタン人のおどり
 ラフマニノフ/
 ピアノ協奏曲第2番八短調
 チャイコフスキー/
 交響曲第5番ホ短調
- H.8.5.26**
第22回定期演奏会
 指揮/金 洪才
 琵琶/陶 敬順
 パーバー/弦楽のためのアダージョ
 呉祖強・王燕樵・劉徳海/
 琵琶協奏曲「草原小姐妹」
 ベルリオーズ/幻想交響曲八長調
- H.9.5.25**
第23回定期演奏会
 指揮/小野田宏之
 オーボエ/茂木大輔
 モーツァルト/
 交響曲第39番変ホ長調
 オーボエ協奏曲八長調
 ムソルグスキー-ラヴェル/
 組曲「展覧会の絵」
- H.10.5.31**
第24回定期演奏会
 指揮/金 洪才
 ヴァイオリン/天満敦子
 ウェーバー/「オベロン」序曲
 シベリウス/
 ヴァイオリン協奏曲二短調
 ブルックナー/
 交響曲第4番変ホ長調「ロマンティック」
- H.11.5.30**
第25回定期演奏会
 指揮/増井信貴
 ピアノ/若林 顕
 ブラームス/ピアノ協奏曲第2番変ロ長調
 ラフマニノフ/交響曲第2番ホ短調
- H.12.5.28**
第26回定期演奏会
 指揮/増井信貴
 プロコフィエフ/交響曲第1番二長調「古典」
 リスト/交響詩「前奏曲」
 ブラームス/交響曲第2番二長調
- H.13.5.27**
第27回定期演奏会
 指揮/田中良和
 ピアノ/有森 博
 ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」
 ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番二短調
 シベリウス/交響曲第1番ホ短調
- H.14.5.26**
第28回定期演奏会
 指揮/牧村邦彦
 ヴァイオリン/
 アナスタシア・チェボタリョーフ
 ベルリオーズ/
 序曲「ロメオの謝肉祭」
 チャイコフスキー/
 ヴァイオリン協奏曲二長調
 チャイコフスキー/
 交響曲第6番口短調「悲愴」
- H.15.5.25**
第29回定期演奏会
 指揮/平井秀明
 ヴァイオリン/久保陽子
 ロッシーニ/「どろぼうかさぎ」序曲
 ブラームス/ヴァイオリン協奏曲二長調
 ドヴォルザーク/交響曲第7番二短調

H.16.5.29
第30回定期演奏会
 指揮/田中一嘉
 バーンスタイン/「キャンディード」序曲
 レスビーギ/
 リュートのための古風な舞曲とアリア第2組曲
 マーラー/交響曲第1番二長調「巨人」

H.17.5.29
第31回定期演奏会
 指揮/田中一嘉
 モーツァルト/
 交響曲第38番二長調「プラハ」
 リヒャルト・シュトラウス/
 交響詩「ドン・ファン」
 ブラームス/交響曲第4番短調

H.18.5.28
第32回定期演奏会
 指揮/増井信貴
 ウェバー/歌劇「魔弾の射手」序曲
 メンデルスゾーン/
 交響曲第4番イ長調「イタリア」
 リムスキー=コルサコフ/
 交響組曲「シェエラザード」

H.19.5.27
第33回定期演奏会
 指揮/曾我大介
 スメタナ/歌劇「売られた花嫁」序曲
 モーツァルト/
 交響曲第41番八長調「ジュピター」
 ストラヴィンスキー/
 組曲「火の鳥」(1945年版)

H.20.1.27
松本和将 with 倉敷管弦楽団
 指揮/菊池 東
 ピアノ/松本和将
 グリーク/「ペールギュント」第1組曲
 グリーク/ピアノ協奏曲イ長調
 ショパン/ピアノ協奏曲第1番短調

H.20.6.22
第34回定期演奏会
 指揮/金 洪才
 メンデルスゾーン/
 「真夏の夜の夢」より
 プロコフィエフ/
 「ロメオとジュリエット」より

H.21.3.16
**第23回倉敷音楽祭
 倉敷管弦楽団演奏会**
 指揮/菊池 東
 ピアノ/山田英代
 真島俊夫(編曲:佐藤正俊)/
 五つの沖縄民謡による組曲
 ベートーヴェン/
 ピアノ協奏曲第1番八長調
 ドヴォルザーク/
 交響曲第9番短調「新世界より」

H.21.11.15
第35回定期演奏会
 指揮/堤 俊作
 ハチャトリアン/組曲「仮面舞踏会」
 チャイコフスキー/
 弦楽のためのセレナード八長調
 ドヴォルザーク/交響曲第8番長調

H.22.3.22
**第24回倉敷音楽祭
 倉敷管弦楽団演奏会**
 指揮/菊池 東
 津軽三味線/木乃下真市
 伊福部昭/交響詩
 木乃下真市/津軽三味線と
 オーケストラのための「海流KAIRYU」
 真島俊夫/三つのジャポニスム
 レスビーギ/交響詩「ローマの祭」

H.22.6.27
第36回定期演奏会
 指揮/角田 鋼亮
 ワグナー/
 歌劇「さまよえるオランダ人」序曲

ラフマニノフ/
 ピアノ協奏曲第2番八長調
 ブラームス/交響曲第1番八長調

H.23.3.21
**第25回倉敷音楽祭
 倉敷管弦楽団演奏会**
 指揮/菊池 東
 ソプラノ/渡邊 史
 外山雄三/
 管弦楽のためのディベルティメント
 渡辺俊幸/
 2002年NHK大河ドラマ「利家とまつ」より
 大島ミチル/
 2009年NHK大河ドラマ「天地人」よりオーブ
 ニングテマ
 佐藤直紀/
 2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」よりオーブ
 ニングテマ
 ジュピター
 ホルスト/
 「惑星」より、火星、金星、水星、木星
 ジョン・ウィリアムズ/
 ETより地上の冒険

H.23.6.19
第37回定期演奏会
 指揮/金 洪才
 ヴェルディ/
 歌劇「シチリア島の夕べの祈り」序曲
 ハチャトリアン/組曲「ガイーン」
 チャイコフスキー/交響曲第4番 へ短調

H.24.3.20
**第26回倉敷音楽祭
 倉敷管弦楽団演奏会**
 指揮/菊池 東
 ソプラノ/渡邊 史
 テノール/田中 誠
 バリトン/蓮井 求
 芥川也寸志/交響管弦楽のための音楽
 チャイコフスキー/序曲「1812年」
 ブッチェーニ/歌劇「蝶々夫人」抜粋

H.24.6.17
第38回定期演奏会
 指揮/角田 鋼亮
 オーボエ/板谷 由起子
 ウェバー/歌劇「オベロン」序曲
 モーツァルト/オーボエ協奏曲八長調
 シェスタコーヴィチ/交響曲第5番

H.25.3.20
**第27回倉敷音楽祭
 倉敷管弦楽団演奏会**
 指揮/菊池 東
 小山 清茂/弦楽のためのアイヌの唄
 伊福部 昭/シンフォニア・タブカーラ
 SF交響ファンタジー第1番
 ジョン・ウィリアムズ/ジュラシック・パーク、
 オリニックファンファーレとテーマ、
 スター・ウォーズ組曲

H.25.6.23
第39回定期演奏会
 指揮/小林 恵子
 ヴァイオリン/守屋 剛志
 ロッシーニ/
 歌劇「アルジェのイタリヤ女」序曲
 ベートーヴェン/
 ヴァイオリン協奏曲二長調
 フランク/交響曲二短調

H.26.3.16
**第28回倉敷音楽祭
 倉敷管弦楽団演奏会**
 坂本龍一/「八重の桜」メインテーマ
 芥川也寸志/八甲田山
 團伊玖磨/管弦楽のための高梁川
 古岡祐而/東京オリンピックマーチ
 すぎやまこういち/
 ドラゴンクエストIII「そして伝説へ」
 宮川泰/交響組曲「宇宙戦艦ヤマト」

H.26.6.29
**倉敷管弦楽団創立40周年記念
 第40回定期演奏会**
 指揮/小松 長生
 ドビュッシー/小組曲
 マーラー/交響曲第5番

H.27.3.1
**第29回倉敷音楽祭
 倉敷管弦楽団演奏会**
 指揮/菊池 東
 ヴォーカル/吉岡小鼓音(さこ)
 菅野祐悟/
 NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」メインテーマ
 久石譲/NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」
 スタンド・アローン
 菅野よう子/花は咲く
 外山雄三/管弦楽のためのラプソディ
 ミュージカル・ステージ
 アナと雪の女王、ウェストサイド序曲
 オペラ座の怪人 他

H.26.7.5
倉敷管弦楽団第41回定期演奏会
 指揮/米崎 栄和
 クラリネット/ティモシー・カーター
 ベートーヴェン/序曲「レオノーレ」第3番
 モーツァルト/クラリネット協奏曲イ長調KV622
 ブラームス/交響曲第2番二長調

H.28.3.21
第30回倉敷音楽祭倉敷管弦楽団演奏会
 指揮/菊池 東
 語り/桂九雀
 華/山路みほ
 特別出演/おかやま山陽高校空手道部
 ショスタコーヴィチ/祝典序曲
 小六禮次郎/瀬戸内賛歌より
 團伊玖磨/管弦楽のための高梁川 より
 藤井凡大/和楽器と管弦楽協奏のための一楽章
 日本古謡/さくらさくら
 プロコフィエフ/ピーターと狼
 レスビーギ/ローマの松

倉敷管弦楽団 今後の予定

H29.3.21
第31回倉敷音楽祭倉敷管弦楽団演奏会
 指揮/菊池 東、ソプラノ/横山恵子
 倉敷市民会館

H29.7月頃
第43回定期演奏会

CHACONNE

DEALERS OF FINE VIOLINS

百年先まで届く響きを。

シャコンヌは、ヴァイオリンをはじめ、弦楽器のコンサルタントとして安心と信頼をお届けしています。ご提供する楽器や弓は、ロンドンでのオークションをはじめヨーロッパ各地にて実際に目で見て吟味したものなどを輸入して揃えています。各店には、伝統的な修理技術をもとに日本の繊細な技術を生かした独自の基準をクリアした職人たちが常駐し、楽器本来の姿を取り戻します。また東京海上火災の代理店として楽器保険業務も行なっております。お客様が安心して演奏活動ができますよう、あらゆるご要望にお応えします。

地方展示会の開催や弊社担当者が全国各地を定期訪問、出張修理なども致しておりますのでご利用下さい。

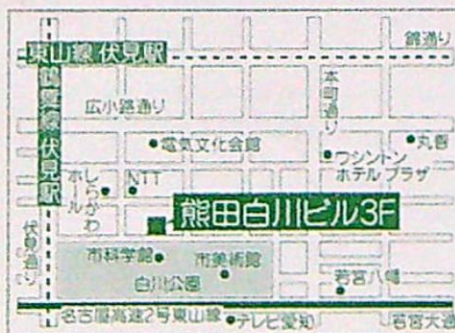


<http://www.chaconne.info>

弦楽器直輸入・修理、調整・楽譜・鑑定・楽器保険

株式会社 シャコンヌ

[全店共通]営業時間/10:00~18:30 定休日/日・月曜日
E-mail: chaconne@pop06.odn.ne.jp



名古屋店
名古屋市中区
栄2-11-19
熊田白川ビル3F
TEL 052-202-1776
FAX 052-202-2990

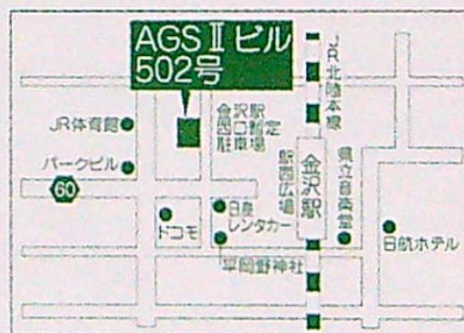


**東京
吉祥寺店**
武蔵野市
吉祥寺本町1-31-11
KSビル904
TEL 0422-23-1879
FAX 0422-23-1876

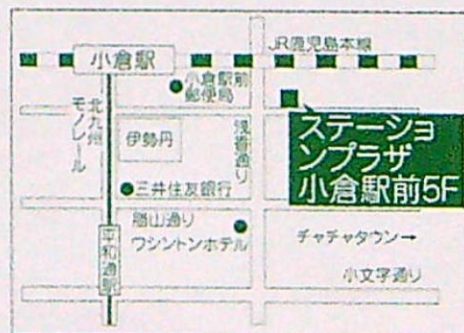
株式会社 カノン
ヴァイオリンレンタル
名古屋市中区栄人町9-1ロイヤル棟中2F
TEL 052-834-4911 FAX 052-839-1217



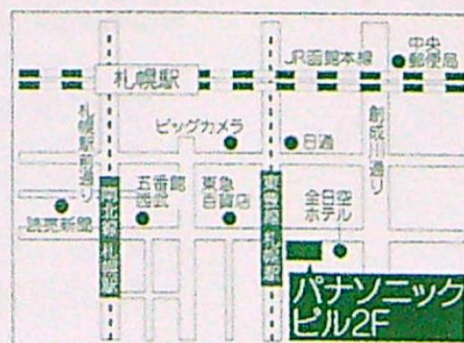
運命の一本との出会いがここにある



金沢店
金沢市広岡
1丁目212番
AGS IIビル502号
TEL 076-221-1779
FAX 076-232-3249



九州小倉店
北九州市小倉北区
京町4-5-27
ステーションプラザ
小倉駅前5F
TEL 093-531-2672
FAX 093-531-2574



札幌店
札幌市中央区
北3条西1丁目1
ナショナルビル2F
TEL 011-221-2561
FAX 011-221-2562